

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

| | | | |
|-------|---------------|------|----------------|
| 受診施設名 | 亀ヶ丘保育園 | 施設種別 | 保育所 (旧体系：) |
| 評価機関名 | 一般社団法人京都府保育協会 | | |

平成 25 年 12 月 25 日

| | |
|---------------|---|
| 総 評 | <p>亀ヶ丘保育園は昭和 27 年に市立保育所として開園し、平成 14 年に公設民営となり平成 18 年からは民設民営として運営されている保育園です。宮津市の中心部に位置し、周辺を宮津湾や山に囲まれた自然豊かな環境にあり、石堀の上の保育園として地域の方に親しまれています。</p> <p>園の方針として「親が安心して預け、子どもが安心して過ごし、職員が安心して働ける保育園」を掲げ、子どもの笑顔と親からの信頼が得られるよう、職員が責任を持って働き協力出来る環境整備を心がけています。</p> <p>園長・主任は協力し、日々の会議や保育への積極的参加を通して子どもの発達や健康状態の把握に努めると共に、保育内容が園の方針に沿って実践されるよう促しています。また、マニュアル等が職員に理解しやすいよう作成されており、職員間で対応方法が共有されるよう取り組んでいます。</p> <p>園長の責任感と主任保育士のフォローのもと、職員とのコミュニケーションを大切にしながら、子どもが生活を送る保育の場が温かく、安心出来る環境となるよう努めています。</p> |
| 特に良かった点(※) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の伸び伸びと遊ぶ姿や、クラスの友だちや保育士の話を集中して聞く様子から、乳児からの丁寧な関わりによる成長が伺えます。 ・ 広い園庭を囲むように園舎があり、各保育室の採光通風に配慮しています。 ・ 未就園児の親子を対象に、週 1 回の親子体操教室を中心に季節の制作や、人形劇、演奏会などの催しを開催しています。また市の家庭相談員による子育て相談の月 2 回実施や、支援事業の土曜日開催などを行っています。 ・ 1 歳児から 5 歳児は専用のランチルームがあり、皆で楽しく食べられるよう配慮しています。園庭に畑があり、栽培から収穫、給食食材としての利用やクッキングなどで使用し、食に対する色々な体験が出来るよう取り組んでいます。アレルギー疾患を持つ子どもに対する除去食は、見た目が同じよう配慮した代替食の提供に努めています。 |
| 特に改善が望まれる点(※) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導計画の評価反省が次の計画に生かせるよう P D C A サイクルを構築し、職員間でその内容が共有されるとなお良いでしょう。 ・ 研修内容の評価・見直しが次の計画に反映される仕組みを工夫されるとより良いでしょう。 ・ 入園時だけでなく年度途中のクラス懇談会や保育参観などの機会を設け、子どもの発達や育児について話し合う場があるとより良いでしょう。 |

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

| | |
|-------|----------------|
| 受診施設名 | 亀ヶ丘保育園 |
| 施設種別 | 保育所 |
| 評価機関名 | 京都府保育協会 |
| 訪問調査日 | 2013年12月25日（水） |

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------------|------------------------------------|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| I-1 保育の理念・基本方針・目標 | I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。 | ① 保育の理念が明文化されている。 | A | A |
| | | ② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。 | A | A |
| | I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。 | ① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。 | B | A |
| | | ② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。 | B | A |
| I-2 計画の策定 | I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | ① 中・長期計画が策定されている。(非該当) | 非該当 | 非該当 |
| | I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。 | ① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている | B | A |
| | | ② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。 | A | A |
| | | ③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。 | A | B |
| | | ④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。 | B | B |
| | | ⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。 | B | A |
| I-3 管理者の責任とリーダーシップ | I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。 | ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。 | B | A |
| | | ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。 | B | B |
| | I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | ① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。 | C | A |
| | | ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | B | A |

[自由記述欄]

・保育理念、保育目標、保育方針が明確に確立されており、園のしおりや園舎玄関に示されています。全体職員会議の中でも年4回、理念について研修を実施し理解が深まるよう努めています。

・保育課程と年間指導計画、短期指導計画は整合性が図られています。毎月の指導計画の評価や、年度末に一年間の保育内容の反省を実施しています。今後は指導計画の評価、反省が次の計画に生かせるようPDCAが回る仕組みを構築し、職員間でその内容を共有するとお良好いでしょう。

・職務分担表を各保育室に掲示し、職員の役割を明確に示しています。経営分析資料を作成し、経営や運営の改善に向けて取り組んでいます。今後は、遵守すべき法令等をリスト化するなど職員がいつでも確認出来るよう工夫するとお良好いでしょう。

・職員の子供への接し方や挨拶、保護者への便りやマニュアル類の丁寧な文書など、園長・主任が責任感を持って園の方針に沿った保育が実践されるよう努めており、質の向上に指導力を発揮していることが伺えました。

II 組織の運営管理

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|--|--|-------|---|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 | |
| II-1 経営状況の把握 | II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | ① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | B | A | |
| II-2 人材の確保・養成 | II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。 | ① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。 | C | A | |
| | | ① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | B | A | |
| | II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | ② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。 | B | A | |
| | | II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | ① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | B | A |
| | | | ② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 | B | A |
| | ③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | B | B | | |
| II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。 | ① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。 | B | A | | |
| | ② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。 | B | A | | |
| II-3 地域との交流と連携 | II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | ① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。 | B | A | |
| | | ② 事業所が有する機能を地域に還元している。 | B | A | |
| | | ③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | B | A | |
| | II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。 | ① 必要な社会資源を明確にしている。 | B | A | |

【自由記述欄】

・市児福祉係と密に連携を図り、地域における福祉や保育の動向を把握するよう努めています。

・「人材確保対策について」を作成し、園運営からみる人材についての考え方や対応プランを考えて取り組んでいます。小規模保育園であり、職員は園長・主任など管理者と話しやすい環境があります。また、年1回職員面談も実施し、職員の意向の把握に努めています。

・研修受講一覧を作成し、一人ひとりの職員に研修目標を設定しています。研修参加報告書を作成し、職員間で研修結果を共有しています。また「保育園における保育の質の向上に向けて」を作成し、取り組みや考えなどが園全体に周知しています。今後は、研修計画の評価・見直しが次の計画に反映される仕組みを工夫するとより良いでしょう。

・保育実習生受け入れマニュアルがあり実習プログラムが作成されています。実習内容は実習生反省記録に記録されています。職場体験についてのマニュアルは写真入りで、中高生にも分かりやすい内容となっており、乳幼児との関わり合える社会体験が出来るよう取り組んでいます。

・地域子育て支援拠点事業を行っており、専用の遊戯スペースがあります。未就園児の親子を対象に、週一回の親子体操教室を中心に季節の制作や、人形劇、演奏会などの催しを開催しています。また市の家庭相談員による子育て相談の月2回実施や、支援事業の土曜日開催などを行っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|------------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス | Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | ① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 | B | A |
| | | ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | B | A |
| | Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | ① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 | A | A |
| Ⅲ-2 サービスの質の確保 | Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。 | ① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。 | C | A |
| | | ② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。 | B | A |
| | Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。 | ① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている | B | A |
| | | ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 | B | A |
| | | ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。 | C | A |
| | Ⅲ-3 サービスの開始・継続 | Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | ① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。 | B |
| ② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | | | A | A |
| Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。 | | ① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | B | A |

[自由記述欄]

・個人情報保護規程を作成し、園のしおりにその概要を掲載しています。

・苦情解決の仕組みが整備され、会議録等で迅速な対応が確認できました。また、対応内容は保護者への便りや園だよりでフィードバックしています。苦情内容・対応内容は詳細に記録されています。

・第三者評価受診に向けて会議を開催し、マニュアルの再確認や修正を行い、事業内容の改善に努めています。

・職員一人ひとりが保育内容や仕事への取り組みに対する自己評価を行っています。それをもとに職員面談で園長と共有すると共に、年度末の保育計画会議にその内容を反映させ次年度に繋げています。

・記録関係は園が定めた様式で記録しています。また、記録類の保存に関する規程があり、鍵のかかる倉庫に保管しています。子どもやその家庭に関する情報は、会議で確認し合うと共に、会議録で欠席した職員にも共有されています。

・保育園の入園の案内や支援センターの情報誌は、見学者への配布と共に市役所でも手にする事が出来るよう配慮しています。また、市のホームページに園の情報を掲載しています。

IV-1 子どもの発達援助

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|------------------|------------------|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-1 子どもの発達援助 | IV-1-(1) 健康管理・食事 | ① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している | A | A |
| | | ② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | B | A |
| | | ③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | A | A |
| | | ④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している | B | A |
| | | ⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている | A | A |
| | | ⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している | A | A |
| | | ⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている | A | A |
| | IV-1-(2) 保育環境 | ① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している | A | A |
| | | ② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている | A | A |
| | IV-1-(3) 保育内容 | ① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている | A | A |
| | | ② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している | A | A |
| | | ③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている | A | A |
| | | ④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている | A | A |
| | | ⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている | B | A |
| | | ⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している | A | A |
| | | ⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している | A | A |
| | | ⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している | A | A |
| | | ⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | A | A |
| | | ⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | B | A |
| | | ⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる | B | A |

[自由記述欄]

・内科健診を年2回、歯科健診を年1回実施し、診断結果を保護者に伝えていきます。嘱託医とは普段より連絡を取り合い、病気などの地域の発生状況や対応方法の情報を交換しています。

・保健衛生マニュアルを整備し、病気や怪我についての対応方法が明記されています。保護者へは隔月発行の安全だよりで、流行する病気について伝達しています。

・1歳児から5歳児は専用のランチルームがあり、皆で楽しく食べられるよう配慮しています。園庭に畑があり、栽培から収穫、給食食材としての利用やクッキングなどで使用し、食に対する色々な体験が出来るよう取り組んでいます。アレルギー疾患を持つ子どもに対する除去食は、見た目が同じよう配慮した代替食の提供に努めています。

・広い園庭を囲むように園舎があり、各保育室の採光通風に配慮しています。園児の伸び伸びと遊ぶ姿や、友達や保育士の話を集中して聞く様子から、乳児からの丁寧な関わりによる成長が伺えます。幼児になると発表会やクリスマス会で合奏を披露しています。また、幼児対象で毎週1回体操があり、保護者が自由に参観できる機会となっています。毎年、外部講師による園内研修を実施し、共通理解のもと保育が実践されるよう取り組んでいます。

・遠足では汽船に乗って天橋立へ出かけたり、海辺で貝がら拾いを行うなど、海辺にある環境を利用しています。また、山や公園など自然環境も豊かであり、園外保育も多く実施しています。

・幼児組は異年齢で過ごす時間を作り、それに伴う異年齢保育計画を作成しています。5歳児は午睡が無くなり、0歳児から4歳児の午睡や起床後の着替えなどのお手伝いを当番制で実施しています。

・各保育室に時間外保育引継ぎ表があり、朝夕の職員へ情報が伝わるよう配慮しています。

IV-2 子育て支援

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------|---------------------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-2 子育て支援 | IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援 | ① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている | A | A |
| | | ② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている | B | A |
| | | ③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている | B | B |
| | | ④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている | A | A |
| | | ⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。 | B | A |
| | IV-2-(2) 一時保育 | ① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている | 非該当 | 非該当 |

[自由記述欄]

・全園児を対象に年1回、個人面談を実施し保護者の意向把握や保育についての共通理解が得られるよう努めています。今後は、入園時だけでなく年度途中のクラス懇談会や保育参観などの機会を設け、子どもの発達や育児について話し合う場があるとより良いでしょう。

・子どもの発達に関する記録が整備されており、その評価・反省を実施しています。それらに基づき保育要録が作成されています。

IV-3 安全・事故防止

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------|-------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-3 安全・事故防止 | (1) 安全・事故防止 | ① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている | B | A |
| | | ② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている | A | A |
| | | ③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている | B | A |
| | | ④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | B | A |
| | | ⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | B | A |

[自由記述欄]

・給食衛生マニュアル、食中毒事故発生時マニュアルが整備されており、食中毒の内容を職員間で話し合い共有しています。

・ヒヤリハットが各保育室にあり事例を記録し、事故記録簿による評価・改善・予防を実施し、事故防止に努めています。遊具などの安全点検は、毎週職員によって実施しています。また、業者による年2回の遊具点検も実施し安全に努めています。

・災害別の避難方法の設定や、不審者侵入時の対応方法が定められています。